



自然を大切に

ぼたる飛び交う中地区をめざす運動の会会長 森田 弘

自然は急がない

中小学校長 谷田部 二三子

昨年7月小山の「宝」である渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録され、「チョウヒ」をはじめとする絶滅危惧種を含むたくさんの動植物が生息する「自然の宝庫」となっています。小山市では、「ふゆみずたんぼ」を活用し「トキ・コウノトリの野生復帰」を目指しています。

一方、中地区においては、昭和初期ごろまで中地区を流れる巴波川「ぼたる橋」付近は、源氏ぼたるの名所でした。もう一度巴波川にぼたるを甦らせようと、平成13年に「ぼたる飛び交う中地区をめざす運動の会」が発足し、学校・PTA・自治会・公民館・ボランティアをはじめ、中地区をあげて中小学校にぼたるのピオトープを作り、ぼたるが飛び交うようになりました。「ぼたるの里」中地区を目指し、巴波川にぼたるをもどす取り組みとして「ぼたる橋」上流側の清掃と「ぼたるの幼虫」「カワニナ」を中小児童といっしょに放流しています。

地域が1つになってこの活動を続けていくことで清流巴波川が甦り再びぼたるが飛び交う地域になることを願っています。

最後に、この活動を通して中小児童と一緒に自然環境の大切さを学び、実践していきたいと思えます。

皆様の御協力をお願い致します。

「自然は急がない」これは、栃木市出身の作家、山本有三のことばです。「自然は命令をしない／自然は急がない／だが、一秒たりとも／なまけてはいない」

5月1日に田植えが終わった途端、一斉にかえるの合唱が響きわたりました。かえるは、田植えが無事に終わったことを喜んでいられるのでしょうか。不思議でした。

かと思えば、5月に入ってから、朝は小鳥のさえずりが賑やかなこと。活発に飛び回りながら、新しい命を迎える準備をしているようです。

最近、「旬」ということばが死語になるのではないかと思えるほど、季節に関係なく、野菜や果物が手に入ります。しかし、自然の草花や鳥や虫などは、今でも巡る季節の移り変わりを私たちに教えてくれています。

2月に放流したぼたるの幼虫たちも、4月には土手に上がり、さなぎになり、飛び立つ日に備えて力を蓄えているのでしょうか。「その日」を夢見ながら、ゆったりとしかし着実に。

この原稿を書いている今日、5月15日、理科室のミニピオトープで20匹近くのぼたるを確認することができました。外のピオトープや巴波川では、もう少し後になるのでしょうか。ぼたるを観る会が楽しみです。

願いを込めて ～ みんなで田植え ～

5月1日、中小の田んぼで田植えをしました。初めてはだしで感じた1年生の歓声があがります。上級生のお兄さんお姉さんに教わりながら上手に田植えができました。秋の収穫が楽しみです。

せんせいとたうえ

1年

どろがふにゃふにゃで、おもしろかったよ。6ねんせいといっしょにできてうれしかったよ。それに、せんせいととなりでよかった。なえがおおきくそだってほしいとねがってうえたんだ。たくさんうえたあと、ぶうのしゃわあであしをあらったよ。てれびにもでて、うれしかったな。

美味しいお米

2年

ぼくは、5年生といっしょに、2かい目の田うえをやりました。田んぼのどろはつめたくて、たいへんでした。でも、お父さんも手つたってくれたので、うれしかったです。おいしいお米がいっぱいとれるといいなおもいます。五七五：田うえの日力をあわせてがんばった

願いを込めて田植え

3年

田うえをしました。田んぼのどろは、ぬるぬるしてとてもつめたかったです。「はやく大きくなあれ。」という気持ちをこめて1本1本ていねいにうえたので、きっとおいしいお米がしゅうかくできると思います。みんなでおにぎりを食べる日がまちどおしいです。五七五：いつの日かみんなでおにぎり楽しみだ

じょうずに田植え

4年

ぼくにとっては、今年で4回目の田植えになります。PTAやボランティアの方々に、植え方を教えていただいたので、たくさんのなえを上手に植えることができました。田んぼのどろは、冷たくてドロドロしていて気持ちがよかったです。秋にはいねかりをして、お米がたくさんとれるといいです。

五七五：田うえてね とても上手に うえられた

じょうずに田植え

5年

ぼくは、田うえをしました。2年生に苗の植え方を教えてあげました。ぼくは、昨年よりも苗を植えるのが上手になり、うれしかったです。苗をたくさん植えて、最後に麦茶をもらいました。働いた後の冷たい麦茶は、とてもおいしく感じました。来年は今よりもっとうまくなりたいです。

五七五：来年は もっとうまく なりたいです

じょうずに田植え

6年

学校で、田植えをしました。ぼくにとっては、6回目で小学校生活最後の田植えだったので、心をこめて苗を植えました。ぼくは、「大きく実って、おいしいお米になって。」と思いながら植えました。最後の田植えで、ちょっぴりさみしかったけれど、おいしいお米になるのが楽しみです。

五七五：6回目 大きく実って お米さん

ぼたる飼育ボランティアさんを募集しています。

☆ 水槽・カワニナ・幼虫その他、会の方で用意します。

希望の方は御連絡ください。

連絡先 中小学校 … 38-0649

昨年度の“ほたるを観る会”から

楽しかったほたるを観る会

4年

ビオトープにホタルがたくさん飛んでいました。きれいだと思います。ちがう学校の人や中学生も見に来てくれて楽しかったです。

ぼくはホタルのおり紙をやったけれどむずかしかったです。作り方を教えてもらって作ることができました。

心に残ったほたるを観る会

5年

わたしは、去年のほたるを観る会で友達と行動し、遊んだり、ホタルを観たりしました。心のこったのは、6年生が書いた作文や絵です。とても上手な文字や絵なので心にのこりました。

今年もきれいなホタルがみればいいなと思いました。

ほたる幼虫放流

～ほたるに届け、みんなの願い～

平成26年2月12日（水）

「六月のほたるを観る会には、たくさん飛んでね。」『大きく育ってね』「きれいな光を放つてね」そんな願いを込めて、子どもたちはほたるの幼虫を放流しました。子どもたちの願いはほたるに届いたでしょうか。十二日の夜、中小学校のビオトープに幻想的な世界が広がること



ほたるを観る会

★ 6月7日（金）

☆ 6月8日（土）

式典 18:00～18:40

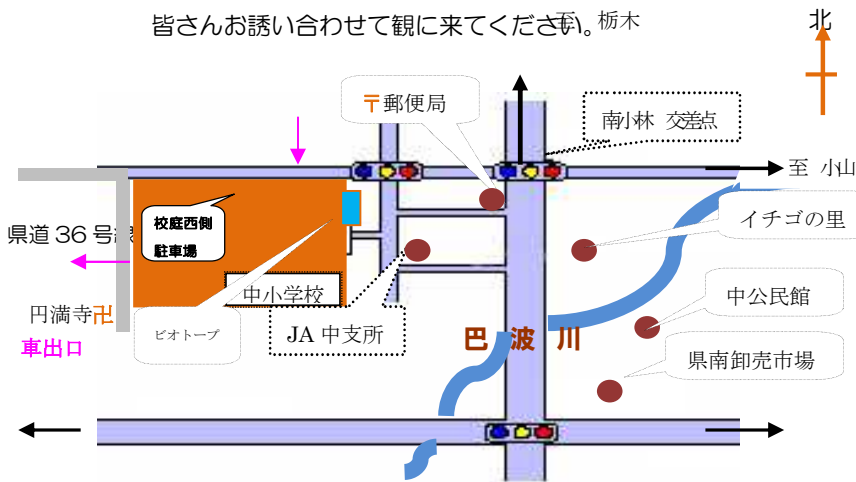
観る会

イベント 18:40～

19:30～21:00

観る会 19:30～21:00

皆さんお問い合わせして観に来てください。栃木



至佐野・足利

国道 50 号線

至結城・笠間

入口（北側県道から）

- ・「観る会」のため午後7時～9時の間はなるべく車の出入りはしないようご協力ください。
- ・車は、西向き <ビオトープを背にして>駐車してください。

【ほたるは、明るさを嫌います。】

出口（駐車場西側から）

夜店…前 PTA 役員・中地区育成会の方々・道の駅「美田の里」の方々の御協力により



< かき氷・フランクフルト・焼きそば・稲荷寿司・おにぎり・芋フライ >

…お楽しみに！

「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」を支える方々

会長 森田 弘

副会長 ・飯田 利美 ・谷田部二三子
・竹澤奈緒美 ・塩田 正典

ボランティア <順不同>

- ・新井 幸男 ・小暮 米作 ・田波耕太郎
- ・青木 新市 ・増田 博利 ・大出 昌男
- ・神山 芳典 ・諏訪 信栄 ・熊倉 弘
- ・神山 宜久 ・藤野 貞和 ・神山 和男
- ・黒須 孝次 ・谷田貝 進 ・塩田 忠男
- ・神山 典夫 ・小川 友一 ・中見川一男
- ・古村泰次郎 ・井岡 正三 ・小林 一大
- ・小林 正雄 ・渡辺 光 ・湯本 正義
- ・速見 勝夫 ・大橋新太郎 ・小川 三次
- ・松本 生男 ・五十畑寛一 ・中澤 成公
- ・荒川 栄 ・久保田 守 ・増田 真司
- ・荒川 廣一 ・石塚 寛治 ・須賀 秀吉
- ・大久保矩男 ・玉野 一雄 ・松沼 和雄
- ・渡邊 敏雄 ・大出 東壽 ・須賀 久夫
- ・関口 利男 ・渡辺 秀雄 ・岸 利一
- ・渡辺 利也 ・小林 雄二 ・玉野 清
- ・松沼 敏雄 ・福島 一美 ・大出 政勝
- ・相川 祐二 ・古口 忠男 ・田中 房雄
- ・大森 利男 ・荒井 淑恵 ・松沼 由美
- ・立石麻紀子 ・中見川洋子 ・桑原 敏郎

—うずまのほたる— 広報班

神山 芳典・神山 宜久・田波耕太郎・荒井 淑恵・松沼 由美
中見川洋子・立石麻紀子・稲津美津恵・上野 敏晴・島田 則子

＝編集後記＝

「うずまのほたる」第21号発行にあたり多くのご協力をいただき感謝いたします。今年もたくさんのほたるが飛び交うことを願っています。